

稲の種まき

日時：平成30年5月7日（月）10時55分～
場所：海田小学校5年生のみなさん



1・事前にたねもみを水につけてもらいました。

たねもみを水につけることは、発芽させるため。芽を出してもらうよう起こす目覚まし時計の役割です。毎日水をかえてもらったのは、芽を出すには空気が必要だからです。



古土井 営農指導員

2・苗箱に土を入れる



3・苗箱に入れた土に水をやる

水のやり方：じょうろの口は上向きで。
雨が降るようにやさしく水をかけるため。外からまわしながら水を毎日あげましょう



4・種まき

種もみを上からぱらぱら撒く。

種まき



重なると土の栄養がかたより、いい苗にならないので重ならないようにしましょう。

ふくど



5・ふくど 種をまいた上に5mmくらい土をかける

土は両手でかけます。かけすぎると布団が重いと寝にくいように苗も出にくくなるので種もみがかくれるくらいにしましょう。



6・水やり

朝と昼休憩に2回やりましょう。晴れの日には2回、曇りの日は1回。3週間後に苗の葉が3～4枚になったら田植えの合図です。